

News Letter

VOL.4

大阪市立大学

大阪教育大学

和歌山大学

積水ハウス株式会社

平成30年度「ダイバーシティ研究環境実現シンポジウム」を開催しました!

平成30年 10月19日(金)

科学者から起業家へと転向しバイオベンチャーの世界で大きな成功を遂げた久能祐子氏(S&R財団 理事長兼CEO)をメインゲストに迎え、「Women's Career Story ~今こそ伝えたい未来へのメッセージ~」と題してシンポジウムを開催しました。

基調講演 「世界は広い、人生は長い」

久能氏の“My journey”として、科学者を目指していた頃、その後二期せずしてバイオテック起業家となった頃、さらにはワシントンでインキュベーター事業を立ち上げられてから現在に至るまでをお話しされました。

世界的にご活躍される今となつては、「子供の頃は人と話すのが苦手で、人とあまり話さなくても済むと思って研究の道を選んだ」というエピソードは意外に感じられますが、その後のキャリアにおいてはいつも、目の前に訪れる状況に対して自然体で1つ1つの選択を積み重ねて来られたというお話が印象的でした。

日米それぞれで創業したバイオベンチャーが上場するまでに成長し、大きな成功を遂げられましたが、そこに至るまでには大きなリスクと背中合わせでありながらも「不思議と怖くなかった」とのこと。その時の心境をふり返ると「自分が登るべき山が見えているような感覚があった」ということで、イノベーションが完成する上で鍵となる要素についても分かりやすく説明していただきました。



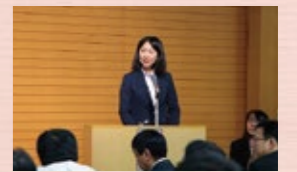
工学博士 久能 祐子氏

- ・S&R財団 理事長兼CEO
- ・Halcyon 創設者兼議長
- ・京都大学 経営管理大学院 特命教授兼総長学事補佐
- ・株式会社フェニクシー 共同創業者

報告-1

「大阪における女性活躍推進の状況 ~管理職登用の観点から~」

大阪商工会議所
人材開発部 研修担当課長
本 奈美氏



報告-2

「女性社員の上位職登用の取り組み」

積水ハウス株式会社
CSR部長
小谷 美樹氏



パネルディスカッション 「"decision maker"としての生き方~多様なセクターで活躍する女性を迎えて~」

4つの異なるセクターから意思決定ポジションに就いて活躍される女性をパネリストとして迎え、「decision maker」としての生き方や働き方についてお話いただきました。ご自身の経験をふり

返ってお話いただくとともに、各セクターの女性活躍状況をデータで見ながら、構造的な課題やそれを踏まえたキャリアアップのポイントなどについてそれぞれお話がありました。

パネリスト

- 久能 祐子氏 (S&R財団 理事長兼CEO)
- 呉 海元氏 (和歌山大学 理事・副学長)
- 内海 美保氏 (近畿経済産業局 通商部 国際化調整企画官)
- 中谷 明子氏 (ゴールデンダンス株式会社 代表取締役)
- *ファシリテーター 折原 真子氏 (大阪市立大学 大学運営本部 事務部長)



Topics

介護相談窓口を開設しました!

大阪市立大学、大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社が共同で介護相談窓口を開設しました。下記要領にて個別相談の申し込みを受け付けていますので、介護に関する不安や悩みなどをお持ちの方はお気軽にご連絡ください。

相談日: 月2回 10:00~16:00 毎月の相談日は下記ホームページをご参照ください。
場所: 大阪市立大学杉本キャンパス 1号館1F 女性研究者支援室 利用対象: 連携機関所属の研究者、大学院生等
ホームページ: <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/effort/assistance-service/> メール: f-soudan@ado.osaka-cu.ac.jp
電話: 06-6605-3455 ※相談には予約が必要です。まずは、お電話またはメールにてお問合せ・ご予約ください。

介護相談窓口開設記念セミナーを開催しました

平成30年12月18日(火)、平成30年11月に開設された「介護相談窓口」を記念して「介護相談窓口開設記念セミナー」を行いました。講師は大阪市立大学 女性研究者支援室 介護アドバイザーの湯浅 美佐子氏です。明日始まるかもしれない介護への備えを整えるために、介護で仕事をあきらめないための介護と仕事の両立についてお話いただきました。



Event Schedule

2月

14 THU・15 FRI 和歌山大学

和歌山大学 英語セミナー 「英語スキル開発プログラム」

講師: Gabaマンツーマン英会話講師
場所: 和歌山大学 西3号館(経済学部)5F 第三会議室
時間: 10:00~17:00

20 WED 大阪教育大学

保育サポーター養成研修講演会 「学校をプラットフォームにした 子どもの貧困対策 現状と課題」

講師: 小河 光治(公益財団法人あすのば 代表理事)
場所: 大阪教育大学柏原キャンパス 事務局棟小会議室(4F)
時間: 14:00~15:30

22 FRI 和歌山大学

和歌山大学ダイバーシティ研修 「なぜ、今、ジェンダー平等とダイバーシティが 問われているのか?」

講師: 伊藤 公雄(京都産業大学 現代社会学部 教授)
場所: 和歌山大学 南1号館(本部共通棟)3F 共通会議室
時間: 10:00~12:00

28 THU 大阪教育大学

保育サポーター養成研修講演会 「SOGI(性的指向・性別自認)の多様性と 大学~何をどのように取り組むべきか~」

講師: 東 優子(大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 教授)
榎井 克明(大阪府立大学 学生課長)
場所: 大阪教育大学柏原キャンパス A棟3F 306教室
時間: 15:00~17:00

3月

4 MON 大阪教育大学

保育サポーター養成研修講演会 「一人ひとりが生きる保育をめざして」

講師: 仲島 正教(教育サポーター)
場所: 大阪教育大学柏原キャンパス 事務局棟小会議室(4F)
大阪市立大学杉本キャンパス 理学部E棟2F 211号室(第10講義室)
※テレビ会議システムで同時配信
時間: 13:30~15:00

6 WED・7 THU 大阪教育大学

英語プレゼンテーションセミナー

講師: ヘルリッツ・ジャパン講師
場所: 大阪教育大学柏原キャンパス B3棟 会議室1(1F)
時間: 9:00~17:00

14 THU 大阪市立大学

女性研究者メンタリング交流会

講師: 池上 知子(大阪市立大学 男女共同参画担当副学長・文学研究科 教授)
ファシリテーター: 小伊藤 亜希子(大阪市立大学 生活科学研究科 教授)
場所: 大阪市立大学 学術情報総合センター 1F 文化交流室
時間: 15:30~17:00



文部科学省科学技術人材育成費補助事業

ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ(牽引型)



連携機関

代表機関 公立大学法人 大阪市立大学
共同実施機関 国立大学法人 大阪教育大学
国立大学法人 和歌山大学
積水ハウス株式会社

ニュースレターに関するお問い合わせ

大阪市立大学女性研究者支援室
OCU Support Office for Female Researchers
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
Tel: 06-6605-3661
E-mail: ocu-support-f@ado.osaka-cu.ac.jp
HP: <http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/>

発行: 平成31年1月

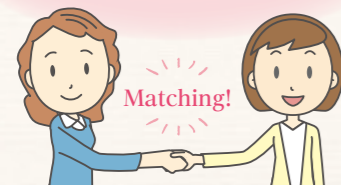


ワークライフバランス支援事業紹介

研究支援員制度

大阪市立大学、和歌山大学、大阪教育大学において、出産・育児・介護を抱える女性研究者の研究支援のために、研究支援員（学生・院生・卒業生他）を配置する研究支援員制度を実施しています。研究支援員は、研究者の監督・指示のもとで支援業務を行います。研究者はライブイベントによる研究の中断や停滞を回避することができる一方、支援員は、研究方法や専門知識への理解を深めながら、研究者の多様な仕事に触れることができます。

研究支援員制度



連携機関の個別の取り組み

男性従業員1ヵ月以上の育休完全取得宣言

積水ハウス株式会社は、子育てを応援する社会を先導する「キッズ・ファースト企業」として、「男性従業員1ヵ月以上の育休休業完全取得」を宣言しました。対象となるのは、3歳未満の子を持つ従業員で、子の誕生から3歳に達する日までに1ヵ月以上の育休休業を取得（最初の1ヵ月は有給）し、業務との調整が円やすいよう、最大4回に分けての取得も可能です。本人や家族にとってはもちろん、お客様や職場、会社にとっても新たな価値と効果を生み出すものとして全社をあげた取り組みを推進しています。本取り組みへの理解と円滑な導入のための社内サポート体制の一環として、対象従業員やその上司が育休休業の意義や趣旨を理解し、具体的な計画を立てるための研修「イクメンフォーラム」を実施しました。

積水ハウス株式会社のその他の取り組み

勤務時間短縮・就業時間変更／育児中や育休休業中の従業員と上司を主な対象とした「仕事と育児の両立いきいきフォーラム」／子育て情報共有のための「ランチケーション」／在宅勤務／保活支援／シッター補助など

保育サポーターの養成

連携機関内で一時保育を行う場合の支援者「保育サポーター」を養成するために、大阪教育大学を中心に「保育サポーター養成研修」を実施しています。平成29年度には、2回の講義のほか、本学近隣の保育園と連携し、0歳児～5歳児までの乳児・幼児への対応を学ぶ実地研修を実施しました。実地研修後、学生20名が「保育サポーター」登録を行いました。「保育サポーター」登録した学生は、8月に短期託児プログラム「キッズサマーキャンパス2018」に参加しました。



育児中の女性研究者への経済的支援

大阪市立大学では、研究者の出産・育児環境整備の一環として、夜間保育、休日保育、病児・病後児保育、学童保育を必要とする研究者に対し、利用料金の一部を補助する保育サポート事業を実施しています。

和歌山大学では、産休・育休・介護休暇明けの研究者への研究費助成の他、女性教員が論文執筆の際の投稿料・掲載料、国際学会で発表した際の交通費・宿泊費などの補助を実施しています。

大阪教育大学では、男女共同参画に関連した教育活動・研究活動及び実践活動に対する助成事業を学内公募し、大学教職員の子育て支援策としての短期託児プログラムなどに対して助成を行っています。

01 大阪市立大学

第1回研究発表交流会「植物の色と食」

リナワティ・リマンタラ
(インドネシア、Pembangungan Jaya大学 学長)

平成30年 10月2日(火)



インドネシア Pembangungan Jaya大学のリナワティ・リマンタラ学長を招き、インドネシアの伝統的な植物の色と食、機能にまつわるお話をいただきました。インドネシアにはその土地由来の多様な植物が豊富にあり、現地では古来食に応用し、植物が持つ機能を人々の健康へと役立ててきました。リマンタラ学長の講演では、「ジャムウ」と呼ばれる日常的健康食品や植物を用いた伝統的薬効の紹介など、インドネシアの伝統的な植物、食物成分と健康長寿との関係について大変興味深いお話がありました。また、後半は関連する研究テーマを持つ女性研究者からの研究発表として、大阪市立大学 複合先端研究機構 藤井律子准教授より「アスタキサンチンを蓄積するレタスの光合成機能」、大阪市立大学 生活科学研究科 小島明子准教授より「タイショウガ(ナンキョウ)の抗認知症効果とその作用メカニズム」、和歌山大学 教育学部 山本奈美教授より「学校教育における食育と食品の機能性」についてご発表いただきました。

女性研究者のリーダーシップについてのエンカレッジセミナー

リナワティ・リマンタラ
(インドネシア、Pembangungan Jaya大学 学長)

平成30年 10月3日(水)

リナワティ・リマンタラ学長を招き、「女性研究者のリーダーシップについてのエンカレッジセミナー」を開催しました。当日は、複合先端研究機構の藤井律子准教授が司会を務められ、本学の大学院生、教職員が集まりました。第一部ではリマンタラ学長がインドネシアの大学の男女の助教以下の講師比率は1.3:1とほぼ変わらないが女性学長は3.27%にすぎない、と指摘。リーダーになるためのスキルや自身の学長になるまでのキャリアパス等についても話し、参加者は熱心に聞き入っていました。現役の女子大学院生からの質問も相次ぎ、参加者の関心の高さがうかがえました。最後に先生は、チャレンジし、前進することの重要性を強調されました。

多様な人事選考を進めるためのワークショップ(Hiring Workshop)

エイミー・ウェント
(ウィスコンシン大学マディソン校 女性科学・技術リーダーシップ機構(WISELI)ディレクター、電気・コンピューター工学科 教授)

平成31年 1月15日(火)



「多様な人事選考を進めるためのワークショップ」を開催し、エイミー・ウェント教授にご講演いただきました。第1部ではWISELIについての紹介がなされました。WISELIは、ワークライフバランスに関する調査、ワークショップの開催、補助金プログラムの実施、教材の作成を行っているとのことでした。第2部では、無意識のバイアスとは何かについて、バイアスの影響を示す研究結果を挙げながらご説明いただきました。女性に対する無意識のバイアスが働いた結果、周囲の人々や女性自身が自らの能力を過小評価している現状を踏まえ、ウェント教授は「人事選考の各プロセスにおいて無意識のバイアスを回避するために、自身の客観性について疑問を持ち、固定観念を引き起こす言葉を使わないよう気を付けること。事前に評価基準を確立し、評価プロセスを急ぐことなく、各評価者に公平性について説明責任を持たせることが重要だ」と述べました。女性が活躍できる組織を作ることは、女性を含む全ての構成メンバーにとって有益であり、そのためには制度や設備の整備とともに、女性自身の意識改革と組織文化の改革を同時に進めていくことが重要であると指摘されました。

02 和歌山大学

研究者交流会

リナワティ・リマンタラ
(インドネシア、Pembangungan Jaya大学 学長)

平成30年 10月4日(木)



国際ワークショップの実施に先立ち、リナワティ・リマンタラ学長を囲んで、和歌山大学 食農総合研究所(大浦由美所長、三谷隆彦教授、荒木良一准教授、山口真範准教授、戴容秦思特任講師)との研究交流会を開催しました。大阪市立大学 藤井律子准教授(複合先端研究機構)、小島明子准教授(生活科学研究科)も参加し、互いの研究内容について活発な意見交換が行われました。

国際ワークショップ「インドネシアにおけるカラフルな植物の多様性“暗黙知”から科学的なアプローチへ」

リナワティ・リマンタラ(インドネシア、Pembangungan Jaya大学 学長)

平成30年 10月4日(木)

インドネシアは極めて多様な生物種を持つ国である例としてまず始めにインドネシア独特の植物や果実、食用花などの紹介から講演が始まりました。現地ではそれらの機能や薬効を生かして土地由来の伝統薬として用いられることも多く、その代表である「ジャムウ」は昔から女性がその製造や販売を担ってきたそうです。また、「パティーク」という染料の着色技術を使った産業においても女性が活躍しており、インドネシアを代表する女性起業家が地域資源を活用して産業を興している事例などが紹介されました。



「観光とSDGs(持続可能な開発目標)に関するセミナー、キャリア形成ワークショップ」

キャシー・シュー(香港理工大学 ホテル・観光マネジメント学院 教授)

平成30年 11月27日(火)・29日(木)

和歌山大学国際観光研究センター主催で、大学院生と若手研究者を対象としたワークショップが行われました。観光教育・研究の現況をつかみ、今後の方向性を探り、キャリア成功にとって重要な点を議論する他、研究や出版についての実践的なアドバイスも行われました。

03 積水ハウス株式会社

第2回 女性研究者研究発表交流会

平成30年 12月4日(火)



女性研究者が集い、学び、情報交換をする「研究発表交流会」を開催しました。第2回となる今回は、文部科学省職業実践力育成プログラム認定事業である「ハッピーキャリアプログラム」を企画運営されている関西学院大学 経営戦略研究科 大内章子准教授に「女性の活躍がこれからの企業を変える、社会を変える」と題してご講演いただきました。また研究発表として、大阪市立大学 生活科学研究科 王飛雪特任助教(積水ハウス株式会社)と大阪市立大学 生活科学部 居住環境学科 渋谷いつかさんより「子育て視点から見た近居の親子世帯のライフスタイル」、大阪教育大学 教育学部 岡崎純子准教授より「昼夜のどちらの訪花昆虫が有効か」、和歌山大学 経済学部 本庄麻美子助教より「大卒初期キャリアにおけるリアリティ・ショックの多様性」についてご発表いただきました。質疑応答により課題の深掘りがなされ、活発な意見交換が行われました。